

## 2013（平成25）年度第5回経営協議会議事要録

日時 2013年12月16日（月）14時

場所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出席 学内委員5名 欠席なし  
学外委員5名 欠席1名

会議成立

開会14時00分

議事に先立ち、学長からあいさつがあった後、12月3日開催の学長選考会議において次期学長候補者の選考を行ったことに対して謝辞があった。

引き続き、学長から、①今年度補正予算の内示があったこと、②国立大学改革プランが11月末に公表され、12月6日に臨時の国大協学長懇談会が開催されたこと、③第3期中期目標期間の末までに各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出すための「国立大学改革プラン」（概要）について説明があった。

次いで、総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

### 議 題

1. 2013（平成25）年度第4回経営協議会議事要録の承認について  
学長から提議され、原案どおりこれを承認した。

2. 経営協議会委員の辞職について

学長から提議され、神谷龍彦委員から、12月5日付けで本協議会委員を辞職したい旨の文書が12月6日に郵送され、受理した旨報告があった。

本委員会委員が1名欠員となったことに対し、学外委員の任期が残り3ヶ月余りであることから、補充は行わないこととしたい旨述べられ、これを承認した。

3. 2013年度予算の使途変更及び補正について

学長から提議され、白石委員から、①支出予算の人件費を物件費（学長裁量経費）へ使途変更すること、②授業料収入見込み額の増額修正に伴う補正を行うこと、③復興関連事業として附属学校の耐震改修事業の内示額を計上すること、④施設整備補助金として美術実習棟及び講堂の耐震改修事業の内示額を計上することについて資料に基づき説明があった。

さらに、白石委員から、授業料収入見込みの算定については、運営費交付金の算定上は3年の平均としているが、休退学者数が例年より少なかったこと、附属学校の収入増及び大学院の収入増によるものであること、今回の内示により本学の耐震改修関連では95.07%が終了することとなり、残り5%は概算要求中の総合研究棟（仮称）及び大学会館の計画的な概算要求により耐震改修は100%実施となる旨補足説明があり、質疑応答の後、これを承認した

○委員からの質疑等 ●大学側の回答

- 人件費で大学の予想が下回ったとあるが、教員の不補充が進まなかったのはどのような理由か。
- 2013年4月採用予定で公募したが、公募条件に合う応募者がなく再公募したこと、10月1日採用予定者が2ヶ月遅れの採用となったこと及び採用内定者が辞退したために再公募となったことによる。
- 教育に対する影響はあるか。
- 非常勤講師で対応したこと、及び学内教員が分担して対応したので、教育の質

に影響はない。

- 休退学者の内訳はどうなっているか。
- 自己点検・評価報告書2012の39ページをご覧ください。昨年度の数値であるが、内訳を掲載している。本学は退学者が他大学に比べて低いことがわかるかと思う。

#### 4. 学生寮整備に係る資金計画について(年度更新案)

学長から提議され、白石委員から、前年度債務繰越分から本年度執行分を差し引いた残額と本年度学長裁量経費の合計を次年度に債務繰越することで次年度の財源を確保したい旨資料に基づき説明があり、これを承認した。

#### 5. 業務達成基準の適用について

学長から提議され、白石委員から、附属岡崎中学校校舎改修工事等に係る持ち出し分として、次年度の原資を確保することから業務達成基準の適用を申請したい旨資料に基づき説明があり、これを承認した。

#### 6. 「自己点検・評価報告書2012」の発行について

学長から提議され、本件は、一昨年度までの年次報告書の発行に替え、昨年度から発行しているものであること、来年度は大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価を受審するため、審査に対応した評価項目としたことなどの説明の後、昨年度との変更点を中心に資料に基づき説明があり、質疑応答の後、これを承認した。

- この報告書は、外部の人も目を通すのか。
- 来年2月に外部評価委員会を開催し、学外委員の評価を受ける予定である。また、ホームページにも公表する予定である。
- 教員免許状更新講習の対面講習実施状況(237ページ)の都道府県別人数で愛知県が多いのはなぜか。
- 本学で講習を受けた人数であるため、愛知県が多くなっている。
- 講習は何日行うのか。
- 対面講習は30時間行う必要があるため、4日間である。
- 名古屋市、豊田市、岡崎市、豊橋市は自前で講習を行っているため、本学の収入は少なくなっている。
- 講習料はいくらか。
- 3万円である。

#### 7. 給与支給制度の改正について

学長から提議され、折出委員から、人事院勧告により国家公務員の2014年1月以降の昇給について、55歳以上の者については昇給を抑制する旨資料に基づき説明があり、本学においては、ラスパイレス指数で国を下回っていることから今年度は据え置きたい旨述べられ、質疑応答の後、これを承認した。

- 良好に達していない者は減給しないのか。
- 減給措置は制度としてない。
- 良好以上の者の人数の割合はどの程度か。
- いわゆる特別昇給を指すが、本学は国の基準に比べて低く抑えている。

## 報 告

#### 1. 2013年度上半期の決算について

白石委員から、中間決算をわかりやすく説明するため、財務諸表形式から単式簿記形式の資料とした旨述べられた後、2013年度上半期の中間決算として、①収入の部、収入の部のポイント、②支出の部(人件費)、支出の部(物件費)、支出の部(人件費、物件費)のポイント、支出の部(補助金ほか)、支出の部(補助金ほか)

のポイント、③収入・支出のバランスについて資料に基づき報告があり、事項欄の名称表記について意見交換があった。

## 2. 平成24年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

学長から、国立大学法人評価委員会から標記について通知があり、①全体評価の内容、②項目別評価として業務運営の改善及び効率化に関する目標、財務内容の改善に関する目標、自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標、その他業務運営に関する重要目標について、全てにおいて「順調」の評価を受けた旨資料に基づき報告があった。

これに対して、委員から以下の質疑があった。

- 法人評価は昨年度と同一人物が行っているのか。
- 組織は同じであるが、メンバーは替わっている。

## 3. 外部評価の実施について

学長から、昨年度に引き続き今年度も外部委員による評価を予定しており、現在、4人の外部評価委員を選考している旨報告があった。

## 4. ミッションの再定義について

学長から、愛知教育大学の強みや特色、社会的な役割として、数値目標を示した「ミッションの再定義」が確定されたことについて資料に基づき説明があり、今後、文部科学省において公表に向け調整中である旨述べられた。

## 5. 次期学長候補者の選考結果について

委員及び監事以外の出席者（陪席者）が退席した後、学長から、学長選考会議における次期学長候補者の選考結果について報告があった。

## 6. その他

### （1）次回の開催日について

学長から、次回は1月23日（木）14時30分からKKRホテル名古屋で開催する旨報告があった。

閉会 16時15分